



さよなら、田中さん

F S

著 鈴木るりか
小学館

十人十色の幸せ

倉敷市立南中学校 2年

紹介文

この本は中学生にぴったりの本だと思います。作者は私たちと同年代の人で、共感できる部分がたくさんありました。主人公のお母さんがとても明るい人で、読んでいてすごく元気をもらうことができました。自分が思ってもいなかったような幸せに気付かされます。そして、自分にとっての幸せとは何かを考えさせられる本です。

倉敷市立南中学校 2年

この本は、作者である鈴木るりかさんが中学生のときの作品ですが、とてもそうだとはいえないくらい上手なストーリーや描写のつまった一冊です。切なくなるところや思わず笑えるところなどがあり、読みやすいのでとてもおすすめです。

倉敷市立南中学校 2年

～母さんにはかなわない？～



太陽はひとりぼっち

F S

著 鈴木るりか
小学館



おかんメール

S

編 『おかんメール』制作委員会
扶桑社

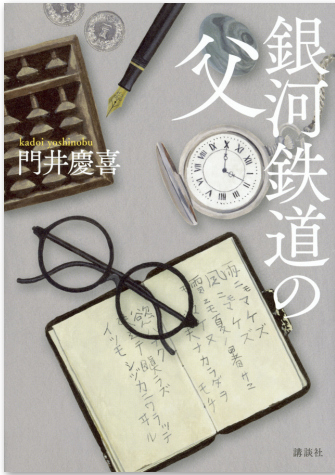


大きくなる日

F

著 佐川光晴
集英社文庫

『太陽はひとりぼっち』は、『さよなら、田中さん』の著者鈴木るりかさんが高校生になっての続編です。花ちゃんのお母さんはなぜたくましいのか。表題作にはお母さんの生い立ちが描かれています。前作に登場した三上君や木戸先生のお話もあります。『おかんメール』はきっと大爆笑の連続です。変換・操作ミス、かん違い、思い込み……。おかんのメールのもつ破壊的なパワーの中にある、たっぷりすぎる愛情も見つけてくださいね。『大きくなる日』は9編からなる連作短編集。両親と姉弟という4人家族の横山家、長男の太二の保育園から高校卒業までを軸として、周囲の家族の姿も描かれています。どこにでもありそうなエピソードをとおして、家族愛を感じる作品です。



銀河鉄道の父

著 門井慶喜
講談社

F

宮沢賢治親子の物語

作成委員

紹介文

この本は、著名な作家・宮沢賢治と父・政次郎の対立と慈愛の日々をつづった小説です。この本に一貫して描かれるのが、政次郎の厳格な父親像。厳しいしつけや賢治の将来を案じて怒鳴るその姿はしかし、家長としての責任、そして何よりも息子への愛によるものだったのです。この本の何よりも面白いところは、細部のリアルな心情です。喜び、失望、怒り、悲しみ——。読んでいて、感情移入がしやすいです。自らの夢を追い求め、ひた走る賢治と、対立しながらも応援する政次郎たちを包み込む花巻の空に、旅立ってみませんか。

県立津山中学校 1年

～親父のチカラ～



とんび

著 重松清
KADOKAWA / 角川文庫

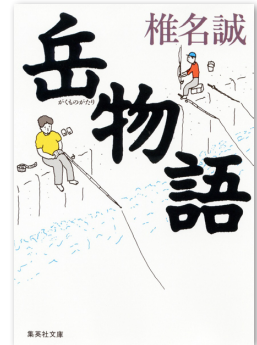
F



サウスバウンド (上)

著 奥田英朗
KADOKAWA / 角川文庫

F S

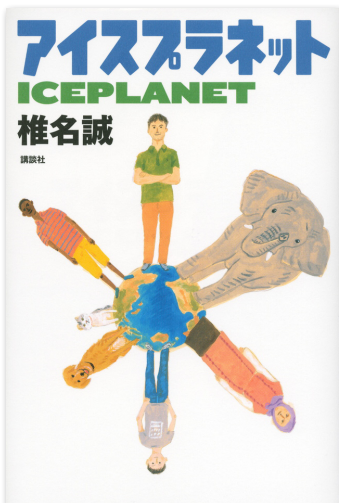


岳物語

著 椎名誠
集英社文庫

S

『とんび』は、不器用で頑固、しかし一人息子をひたすら愛し懸命に育てる父親ヤスとその息子アキラの物語。母を失ったアキラにけるヤスの言葉が泣けます。重松清さんは、小学校の国語教科書に載っていた『カレーライス』の著者です。『サウスバウンド』の主人公二郎の父親、一郎は元過激派。日本という国の制度が気に入らない。自由奔放すぎて、周囲に迷惑をかけてばかり。ところが、ある出来事からその姿は魅力的なものへと変わっていきます。『アイスプラネット』の著者である椎名誠さんが、岳と名付けた息子さんの成長、自立と反抗期、そして家族の姿を描いた私小説が『岳物語』です。どんな親父もがんばってます。



アイズプラネット

F

著 椎名誠
講談社

ぼくのおじさん「ぐうちゃん」

作成委員

紹介文

光村図書の国語教科書2年に掲載されている『アイズプラネット』の続編です。ぼくのおじさん「ぐうちゃん」は、38歳にもなって、いまだにぼくの家のおじさん。なんだかとらえどころがない。いつも信じられないような動物や景色のほら話ばかりしている。そのほら話のなんとフシギなことか。世界中を旅している「ぐうちゃん」にいろいろな真実を教わるぼく。果てしなく広い世界を広い視野、いろいろな角度で見て、確かめ、考えることの大切さが伝わってきます。

作成委員

～親子じゃないけど～



ひかりの魔女
著 山本甲士
双葉社

F S



大家さんと僕 (コミック)
著 矢部太郎
新潮社

S



真夜中のパン屋さん
午前0時のレシピ
著 大沼紀子
ポプラ社

F S

『ひかりの魔女』って誰のことでしょうか。ファンタジーかな？いえいえ、浪人生真崎光一と同居を始めたひかりばあちゃんが、優しい笑顔と思いやりで周囲の人々のギスギスした心を癒やす物語なのです。ほっこりしたい人にオススメです。カラテカの矢部太郎さんが下宿先の大家さんとのほのぼのとした交流を描いた漫画『大家さんと僕』。TVなどで広く紹介されたので知っている人も多いでしょう。家族でも恋人でもないけどすてきな関係。『真夜中のパン屋さん』は、営業時間が午後11時から午前5時までという変わったパン屋に集まる人々の物語です。それぞれの悲しくつらい思いと周囲の温かな心が描かれます。



戸村飯店 青春100連発

F

著 瀬尾まい子
理論社

アホで不器用な兄弟だけど

作成委員

紹介文

大阪の下町にある大衆中華料理店の兄弟、見た目すっきりで要領のいい兄ヘイスケと騒々しいボケの弟コウスケ。会話はもちろんコテコテの大阪弁丸出し。まるで新喜劇のような、漫才コンビのようなおもしろさがさく裂します。東京の専門学校に進んだヘイスケと店を継ぐ気のコウスケ。たとえ遠くに離れていても、性格が違っていてもやはり兄弟っていいもんです。周囲の人の温かい雰囲気の中で、将来を思い悩む高校卒業前後の二人の青春がユーモラスに描かれます。

作成委員

～食べて笑って～



一富士茄子牛焦げルギー

F

作・絵 たなかしん
B L 出版



はなちゃんのみそ汁

著 安武信吾, 安武千恵, 安武はな
文藝春秋



地球の食卓 世界24か国の家族のごはん

S

著 ピーター・メンツェル,
フェイス・ダルージオ
翻訳 みつじまちこ
TOTO出版

『一富士茄子牛焦げルギー』、なんて変な題名でしょう、読めるかな？内容も変ですよ。おとんは夢で、牛みたいな大きな茄子にのって富士山に行き、「餅が焦げないようにしてください」と願ったという。すると本当に餅が焦げなくなった！さらに、おとんはもう一つ願いができるというので……。『はなちゃんのみそ汁』は、実話です。安武さんご夫婦は、千恵さんのガンを克服するため、生活や食事を見直しますが、千恵さんは愛する一人娘はなちゃんを残して亡くなってしまいます……。『地球の食卓 世界24か国の家族のごはん』。いったいどんな食べ物があるのでしょうか。多くの興味深い写真、レシピなどの資料を載せたルポ・エッセイです。



今日も嫌がらせ弁当

S

著 ttkk (Kaori)
三オブックス

母からの嫌がらせ!?

津山市立加茂中学校2年

紹介文

この本は私のお気に入りです。反抗期のムスメへの嫌がらせ弁当。私自身も反抗期なので読んでみたらとてもおもしろくて、しかも映画化されていると知ってますます好きになりました。私は母とお弁当で会話ができるなら、そういう嫌がらせ弁当でもいいかなあと読みながら思いました。このお母さんは朝早くからこんな手のこんだお弁当を作ってくれる、いい母親だなあと思いました。この本はとってもおもしろいです。

津山市立加茂中学校2年

～お弁当って楽しみ！～



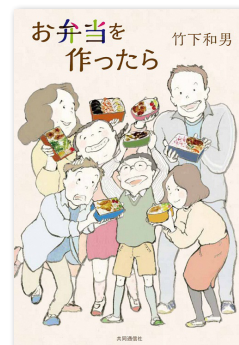
461個の弁当は、
親父と息子の男の約束。

著 渡辺俊美
マガジンハウス



50代のロッカーが毎朝
せっせとお弁当作ってるって
かっこ悪いことかもしれないけれど

著 辻仁成
主婦の友社



お弁当を作ったら

著 竹下和男
共同通信社

『461個の弁当は、親父と息子の男の約束。』は、妻と離婚した渡辺さんが、一人息子のために高校生活の3年間、毎日手作りの弁当を作り続けたエピソードを描いたエッセイで、これもドラマ・映画になった作品です。『50代のロッカー……』も父親の作ったお弁当。辻仁成さんはパリで息子と二人暮らしを始めてからの二年間、毎日の朝食弁当を作りました。この2冊には、お弁当の写真とレシピもあるので、皆さんも作ってみたらどうでしょう。今、多くの学校に「自分で作る弁当の日」がありますね。その日を始めたのが『お弁当を作ったら』の著者の竹下さんです。2001年、香川県の小学校でのことでした。お弁当ってホントに楽しいよね。